



2019年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2018年8月1日
上場取引所 東

上場会社名 参天製薬株式会社
 コード番号 4536 URL <http://www.santen.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO (氏名) 黒川 明
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレート・コミュニケーショングループ (氏名) クリストファー・T E L 06-4802-9360
 グループマネージャー ホフマン
 四半期報告書提出予定日 2018年8月3日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

コアベース

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		コア営業利益		コア四半期利益		親会社の所有者に 帰属する コア四半期利益		基本的1株当たり コア四半期利益	希薄化後1株当たり コア四半期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	56,483	1.0	11,669	△14.8	8,628	△15.1	8,631	△15.2	21.21	21.15
2018年3月期第1四半期	55,949	11.9	13,698	10.9	10,166	16.0	10,172	16.1	25.04	24.95

IFRS（フル）ベース

	売上収益		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	56,483	1.0	10,016	△16.9	9,455	△21.7	6,852	△24.0	6,854	△24.0	7,000	△42.1
2018年3月期第1四半期	55,949	11.9	12,056	11.5	12,082	17.8	9,012	23.1	9,018	23.1	12,085	649.1

	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益	
	円 銭		円 銭	
2019年3月期第1四半期	16.85		16.79	
2018年3月期第1四半期	22.20		22.12	

(注) 2016年8月に行った企業結合に係る暫定的な会計処理が2018年3月期第2四半期に確定したことに伴い、2018年3月期第1四半期の連結経営成績を遡及修正しています。

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円		百万円		百万円	%	円 銭
2019年3月期第1四半期	378,420		289,287		287,580	76.0	706.74
2018年3月期	388,463		287,557		285,823	73.6	702.54

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	-	13.00	-	13.00	26.00
2019年3月期	-				
2019年3月期（予想）		13.00	-	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

コアベース

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		コア営業利益		コア当期利益		基本的1株当たり コア当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	237,000	5.4	48,000	5.8	35,300	5.5	87.26

IFRS（フル）ベース

	売上収益		営業利益		税引前当期利益		当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	237,000	5.4	40,700	5.2	41,300	5.2	30,400	△13.8	75.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

IFRS（フル）ベースの数値からコアベースの数値への調整内容は、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1)経営成績に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(注) 詳細は、添付資料P13「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2019年3月期1Q	406,916,515株	2018年3月期	406,847,515株
② 期末自己株式数	2019年3月期1Q	7,741株	2018年3月期	7,411株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2019年3月期1Q	406,881,532株	2018年3月期1Q	406,176,961株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいています。実際の業績は、事業環境変化、新薬の承認時期、為替レート変動、医薬品行政の動向など様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2018年8月2日(木)に証券アナリスト、機関投資家向けの第1四半期決算カンファレンスコールを開催する予定です。この説明会で使用する資料は、開催後当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書	7
(2) 要約四半期連結財政状態計算書	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(会計方針の変更)	13
(重要な後発事象)	13
3. 連結参考資料	14
(1) 主要製品売上収益	14
(2) 医薬品開発状況	15
(3) 設備投資、減価償却費及び償却費、製品に係る無形資産償却費ならびに研究開発費	17

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 当第1四半期連結累計期間の業績の状況

(ア) コアベース ※1

(単位：百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	対前年同期増減率
売上収益	55,949	56,483	1.0%
コア営業利益	13,698	11,669	△14.8%
コア四半期利益	10,166	8,628	△15.1%
親会社の所有者に帰属する コア四半期利益	10,172	8,631	△15.2%

[売上収益]

前年同期と比べ1.0%増加し、565億円となりました。

主力の国内医療用医薬品事業においては、流通における一過性の在庫調整および薬価改定などの影響により前年同期と比べ減収となりましたが、海外事業においてはEMEA（ヨーロッパ、中東およびアフリカ）・アジアで当社製品は順調に市場浸透し、高い成長率を維持しています。

事業別の状況は次のとおりです。

(単位：百万円)

	国内		海外		合計	
	金額	対前年同期増減率	金額	対前年同期増減率	金額	対前年同期増減率
医療用医薬品	33,712	△3.8%	18,326	13.1%	52,037	1.6%
一般用医薬品	3,454	△11.8%	60	△2.2%	3,514	△11.7%
医療機器	637	5.6%	22	340.4%	659	8.3%
その他	239	107.1%	33	626.3%	272	126.6%
合計	38,042	△4.1%	18,441	13.3%	56,483	1.0%

(注) 外部顧客に対する売上収益を表しています。

<医療用医薬品>

◇国内

前年同期と比べ3.8%減少し、337億円となりました。各疾患領域の主力製品の売上推移は次のとおりです。

- ・ 緑内障・高眼圧症治療剤領域
 - 「タプロス点眼液」 24億円（対前年同期増減率 △ 4.4%）
 - 「タプロム配合点眼液」 6億円（対前年同期増減率 △ 0.3%）
 - 「コソプト配合点眼液」 28億円（対前年同期増減率 △ 8.2%）
- ・ 角結膜疾患治療剤領域
 - 「ヒアレイン点眼液」 23億円（対前年同期増減率 △23.6%）
 - 「ジクアス点眼液」 34億円（対前年同期増減率 + 5.2%）
- ・ 抗アレルギー点眼剤領域
 - 「アレジオン点眼液」 23億円（対前年同期増減率 △12.0%）
- ・ 網膜疾患治療剤領域
 - 「アイリーア硝子体内注射液 ※2」 140億円（対前年同期増減率 + 6.6%）

◇海外

EMEA

円換算ベースで前年同期と比べ5.9%増加し、93億円となりました。

医薬情報提供などの普及促進活動に注力し、緑内障・高眼圧症治療剤「タフロタン」、「サフルタン」、「タブティコム」、「コソプト」、「トルソプト」、角結膜疾患治療剤「アイケルビス」が市場に浸透しています。

アジア

円換算ベースで前年同期と比べ21.7%増加し、90億円となりました。

「ヒアレイン」、「クラビット」など主力品の普及促進活動の展開により、中国や韓国で着実に成長するとともに、タイやフィリピンなどのアセアン諸国においても高い成長率を維持しています。

<一般用医薬品>

前年同期と比べ11.7%減少し、35億円となりました。

「サンテボーティエシリーズ」、新「サンテメディカルシリーズ」、「ソフトサンティアシリーズ」などの高価格帯品に引き続き注力しています。

<医療機器>

前年同期と比べ8.3%増加し、7億円となりました。

高屈折率の亚克力素材を光学部に用いたフォールダブル眼内レンズ「エタニティ」シリーズの普及促進活動に引き続き注力しています。

<その他>

その他の売上収益は3億円となりました。サプリメント製品の販売、株式会社クレール（連結子会社）での無塵・無菌服のクリーニング業によるものです。

[コア営業利益]

売上総利益は、前年同期と比べ9億円減少し、335億円となりました。売上原価率は、前年同期と比べ2.2ポイント増加し、40.8%となりました。

販売費及び一般管理費は、海外事業の拡大に伴い、前年同期と比べ11億円増加し、162億円となりました。

研究開発費は、前年同期と横ばいの56億円となりました。

以上により、コアベースでの営業利益は、前年同期と比べ20億円減少し、117億円となりました。

※1 参天製薬グループではIFRS適用を機に、IFRSによる業績（「IFRS（フル）ベース」）から一部の収益および費用を控除した「コアベース」での財務情報を経常的な業績を示す指標として開示しています。IFRS（フル）ベースによる業績からコアベースでの業績への調整において控除する以下の収益および費用とそれらに係る法人所得税費用を調整し、コアベースを算出しています。

- ・製品に係る無形資産償却費
- ・その他の収益
- ・その他の費用
- ・金融収益
- ・金融費用
- ・販売費及び一般管理費のうち企業買収に係る一過性費用

※2 製造販売元であるバイエル薬品株式会社とのコ・プロモーション製品です。

（イ）IFRS（フル）ベース

（単位：百万円）

	前第1四半期	当第1四半期	対前年同期増減率
売上収益	55,949	56,483	1.0%
営業利益	12,056	10,016	△16.9%
四半期利益	9,012	6,852	△24.0%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	9,018	6,854	△24.0%

[売上収益]

コアベースからの調整はありません。

[営業利益]

売上総利益、販売費及び一般管理費、研究開発費について、コアベースからの調整はありません。

製品に係る無形資産償却費は、前年同期と比べ5.0%増加し、17億円となりました。これは主に、米メルク社から2014年に譲受けた眼科製品に関する無形資産、ならびに2015年より欧州で販売を開始した「アイケルビス」に関する無形資産の償却によるものです。

その他の収益は、1億円となりました。

これらにより、IFRS（フル）ベースの営業利益は、前年同期と比べ16.9%減少し、100億円となりました。

[親会社の所有者に帰属する四半期利益]

親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期と比べ24.0%減少し、69億円となりました。売上収益に対するその比率は、12.1%となりました。

② 研究開発活動

<緑内障・高眼圧症領域>

EP2受容体作動薬DE-117（一般名：オミデネパグ イソプロピル）は、米国にて後期第Ⅱ相試験を終了し、日本では2017年11月に製造販売承認を申請しました。アジアでは2016年12月に第Ⅲ相試験を開始しました。

FP/EP3受容体デュアル作動薬DE-126（一般名：sepetaprost）は、2017年7月に米国、日本にて後期第Ⅱ相試験を開始しました。

2016年8月に買収したInnFocus社の緑内障用デバイスInnFocus MicroShunt（DE-128）は、FDA承認取得に向け米国および欧州にて第Ⅱ/Ⅲ相試験を実施しています（欧州にてCEマーク承認取得済み）。

<角結膜疾患（ドライアイを含む）領域>

DE-089（一般名：ジクアホソルナトリウム）は、2017年10月に中国にて輸入医薬品承認を取得しました。

DE-076B（開発品名：Cyclokat、一般名：シクロスポリン）は、アジアにて順次販売承認を申請しており、2017年12月にタイで発売しました。

DE-076C（開発品名：Vekacia、一般名：シクロスポリン）は、2018年7月に欧州委員会より医薬品販売承認を取得しました。

<網膜・ぶどう膜疾患領域>

DE-109（一般名：シロリムス）は、米国にてぶどう膜炎を対象とした追加の臨床試験を計画中です。

DE-122（一般名：carotuximab）は、米国での開発を目指し、2017年7月に滲出型加齢黄斑変性を対象とした前期第Ⅱ相試験を開始しました。

<その他疾患領域>

DE-127（一般名：アトロピン硫酸塩）は、2017年11月にアジアにて近視を対象とする第Ⅱ相試験を開始しました。

（2）財政状態に関する説明

① 資産、資本及び負債の状況

当第1四半期末の資産は、前期末と比べ100億円減少し、3,784億円となりました。これは配当金および法人所得税等の支払いによる現金及び現金同等物の減少があったことなどによるものです。

資本は、前期末と比べ17億円増加し、2,893億円となりました。これは利益剰余金の増加などによるものです。

負債は、前期末と比べ118億円減少し、891億円となりました。これは法人所得税等の支払いによる未払法人所得税等の減少および借入金の返済などによるその他の金融負債の減少などによるものです。

以上の結果、親会社所有者帰属持分比率は、前期末と比べ2.4ポイント増加し、76.0%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、32億円の支出（前年同期は、51億円の収入）となりました。これは四半期利益が69億円、減価償却費及び償却費が27億円などあった一方、法人所得税の支払いが70億円、営業債務及びその他の債務の減少が26億円ならびに営業債権及びその他の債権の増加が20億円あったことなどによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、18億円の支出（前年同期は、12億円の支出）となりました。これは有形固定資産の取得による支出が11億円あったことなどによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、66億円の支出（前年同期は、75億円の支出）となりました。これは配当金の支払いが52億円、長期借入金の返済による支出が15億円あったことなどによるものです。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第1四半期末残高は、前期末と比べ119億円減少し、574億円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期の業績は、概ね予定通り推移しており、2018年5月9日に公表した業績予想からの変更はございません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上収益	55,949	56,483
売上原価	△21,581	△23,022
売上総利益	34,367	33,461
販売費及び一般管理費	△15,056	△16,173
研究開発費	△5,613	△5,619
製品に係る無形資産償却費	△1,656	△1,739
その他の収益	83	118
その他の費用	△69	△33
営業利益	12,056	10,016
金融収益	451	500
金融費用	△425	△1,060
税引前四半期利益	12,082	9,455
法人所得税費用	△3,070	△2,604
四半期利益	9,012	6,852
その他の包括利益		
純損益に振り替えられない項目：		
確定給付制度の再測定	—	—
その他の包括利益を通じて公正価値で測定 する金融資産の純変動	1,478	△1,327
純損益に振り替えられる可能性のある項目：		
在外営業活動体の換算差額	1,595	1,476
その他の包括利益	3,073	149
四半期包括利益合計	12,085	7,000
四半期利益の帰属		
親会社の所有者持分	9,018	6,854
非支配持分	△5	△3
四半期利益	9,012	6,852
四半期包括利益合計の帰属		
親会社の所有者持分	12,073	7,028
非支配持分	12	△27
四半期包括利益合計	12,085	7,000
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益（円）	22.20	16.85
希薄化後1株当たり四半期利益（円）	22.12	16.79
※コアベース		
売上収益	55,949	56,483
コア営業利益	13,698	11,669
コア四半期利益	10,166	8,628
基本的1株当たりコア四半期利益（円）	25.04	21.21
希薄化後1株当たりコア四半期利益（円）	24.95	21.15
コア四半期利益の帰属		
親会社の所有者持分	10,172	8,631
非支配持分	△5	△3
コア四半期利益	10,166	8,628

（2）要約四半期連結財政状態計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	29,706	30,614
無形資産	134,495	134,840
金融資産	35,775	34,118
繰延税金資産	2,264	2,443
その他の非流動資産	2,855	1,965
非流動資産合計	205,095	203,981
流動資産		
棚卸資産	30,636	31,815
営業債権及びその他の債権	78,654	80,570
その他の金融資産	472	355
その他の流動資産	4,322	4,216
現金及び現金同等物	69,283	57,483
流動資産合計	183,367	174,440
資産合計	388,463	378,420

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資本		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	8,032	8,061
資本剰余金	8,657	8,687
自己株式	△11	△12
利益剰余金	249,225	250,790
その他の資本の構成要素	19,921	20,054
親会社の所有者に帰属する持分合計	285,823	287,580
非支配持分	1,734	1,707
資本合計	287,557	289,287
負債		
非流動負債		
金融負債	21,244	22,060
退職給付に係る負債	1,804	2,039
引当金	1,367	1,390
繰延税金負債	12,909	13,577
その他の非流動負債	1,380	1,418
非流動負債合計	38,704	40,483
流動負債		
営業債務及びその他の債務	29,743	27,118
その他の金融負債	14,404	11,491
未払法人所得税等	7,656	2,280
引当金	1,508	883
その他の流動負債	8,890	6,877
流動負債合計	62,201	48,650
負債合計	100,905	89,133
資本及び負債合計	388,463	378,420

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					確定給付制度の再測定	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動
2017年4月1日残高	7,792	8,417	△10	223,283	—	9,470
四半期包括利益						
四半期利益				9,018		
その他の包括利益						1,478
四半期包括利益合計	—	—	—	9,018	—	1,478
所有者との取引額						
新株の発行	6	6				
自己株式の取得			△0			
配当金				△5,280		
その他				1		△1
所有者との取引額合計	6	6	△0	△5,279	—	△1
2017年6月30日残高	7,798	8,423	△10	227,021	—	10,947

	その他の資本の構成要素			親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
	在外営業活動体の換算差額	新株予約権	合計			
2017年4月1日残高	5,332	825	15,628	255,110	819	255,929
四半期包括利益						
四半期利益			—	9,018	△5	9,012
その他の包括利益	1,578		3,056	3,056	17	3,073
四半期包括利益合計	1,578	—	3,056	12,073	12	12,085
所有者との取引額						
新株の発行		△3	△3	10		10
自己株式の取得			—	△0		△0
配当金			—	△5,280		△5,280
その他			△1	—		—
所有者との取引額合計	—	△3	△4	△5,271	—	△5,271
2017年6月30日残高	6,910	823	18,680	261,912	831	262,743

当第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					確定給付制度の再測定	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動
2018年4月1日残高	8,032	8,657	△11	249,225	—	14,364
四半期包括利益						
四半期利益				6,854		
その他の包括利益						△1,327
四半期包括利益合計	—	—	—	6,854	—	△1,327
所有者との取引額						
新株の発行	29	29				
自己株式の取得			△1			
配当金				△5,289		
所有者との取引額合計	29	29	△1	△5,289	—	—
2018年6月30日残高	8,061	8,687	△12	250,790	—	13,037

	その他の資本の構成要素			親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
	在外営業活動体の換算差額	新株予約権	合計			
2018年4月1日残高	4,583	975	19,921	285,823	1,734	287,557
四半期包括利益						
四半期利益			—	6,854	△3	6,852
その他の包括利益	1,500		173	173	△25	149
四半期包括利益合計	1,500	—	173	7,028	△27	7,000
所有者との取引額						
新株の発行		△40	△40	18		18
自己株式の取得			—	△1		△1
配当金			—	△5,289		△5,289
所有者との取引額合計	—	△40	△40	△5,271	—	△5,271
2018年6月30日残高	6,083	935	20,054	287,580	1,707	289,287

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期利益	9,012	6,852
減価償却費及び償却費	2,666	2,749
減損損失	37	—
金融収益及び金融費用(△は益)	△130	△155
法人所得税費用	3,070	2,604
営業債権及びその他の債権の増減(△は増加)	△5,659	△1,991
棚卸資産の増減(△は増加)	1,905	△1,329
営業債務及びその他の債務の増減(△は減少)	△272	△2,581
引当金及び退職給付に係る負債の増減(△は減少)	237	△332
その他	△3,298	△2,296
小計	7,567	3,521
利息の受取額	20	58
配当金の受取額	274	257
利息の支払額	△9	△3
法人所得税の支払額	△2,777	△7,040
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,075	△3,207
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資の取得による支出	△2	△211
投資の売却による収入	2	—
有形固定資産の取得による支出	△667	△1,122
無形資産の取得による支出	△516	△446
その他	△7	△24
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,190	△1,802
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△2,287	△1,454
配当金の支払額	△5,181	△5,205
その他	9	17
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,460	△6,642
現金及び現金同等物の増減額	△3,576	△11,652
現金及び現金同等物の期首残高	52,282	69,283
現金及び現金同等物の為替変動による影響	245	△207
現金及び現金同等物の四半期末残高	48,952	57,425

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項
 (継続企業の前提に関する注記)
 該当事項はありません。

(会計方針の変更)

要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、以下に記載する会計方針の変更を除き、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一です。

参天製薬グループでは、当第1四半期連結会計期間より、以下の基準を適用しています。

基準書		強制適用時期 (以降開始年度)	参天製薬グループ 適用時期	新設・改訂の概要
IFRS第9号	金融商品	2018年1月1日	2019年3月期	金融商品の分類及び測定の変更、減損及びヘッジ会計に関する改訂
IFRS第15号	顧客との契約から生じる収益	2018年1月1日	2019年3月期	収益認識に係る基準の改訂

IFRS第9号「金融商品」

参天製薬グループは、これまでIFRS第9号（2010年10月および2011年12月改訂）を適用してきましたが、当第1四半期連結会計期間よりIFRS第9号（2014年7月公表版）を適用しています。

金融資産の減損損失

参天製薬グループは、2018年4月1日より金融資産の減損損失の測定手法を、IAS第39号が規定する発生損失モデルからIFRS第9号が規定する予想信用損失モデルに移行しました。2018年4月1日に移行の経過措置に従い過年度の連結財務諸表の修正は行わず、予想信用損失モデルに基づいて損失評価引当金を測定しています。

IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」

参天製薬グループは、当第1四半期連結会計期間より、IFRS第15号を適用しています。この基準書はIAS第18号「収益」およびIAS第11号「工事契約」を置き換えたものです。IFRS第15号は財務諸表の表示を含む収益認識の金額、収益認識の時期を決定する包括的フレームワークを定めています。IFRS第15号の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しています。

IFRS第15号の適用に伴い、下記の5ステップアプローチに基づき、収益を認識しています。

- ステップ1：顧客との契約の識別
- ステップ2：履行義務の識別
- ステップ3：取引価格の算定
- ステップ4：履行義務への取引価格の配分
- ステップ5：履行義務の充足による収益認識

これらの基準の適用による参天製薬グループへの影響は軽微です。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 連結参考資料

(1) 主要製品売上収益

(単位:百万円)

品目名 (有効成分・剤形)	薬効成分	地域	2018年3月期				2019年3月期			
			第1四半期 累計実績	対前年 伸長率	通期 実績	対前年 伸長率	第1四半期 累計実績	対前年 伸長率	通期 見込	対前年 伸長率
クラビット点眼液 (レボフロキサシン点眼液)	合成抗菌点眼剤	合計	3,746	8.3%	14,944	16.0%	3,766	0.5%	15,443	3.3%
		日本	1,175	△12.0%	4,105	△11.9%	898	△23.6%	3,415	△16.8%
		アジア	2,159	17.4%	9,225	32.2%	2,448	13.4%	10,154	10.1%
		EMEA	412	44.4%	1,614	29.7%	420	2.0%	1,874	16.1%
タリビッド点眼液 (オフロキサシン点眼液)	合成抗菌点眼剤	合計	473	11.8%	1,581	2.6%	358	△24.4%	1,467	△7.2%
		日本	144	△8.0%	508	△9.2%	136	△6.0%	418	△17.6%
		アジア	329	23.4%	1,073	9.3%	222	△32.5%	1,049	△2.2%
		EMEA	—	—	—	—	—	—	—	—
タブコム配合点眼液 (タフルプロスト/ チモロールマレイン酸塩点眼液)	緑内障治療剤	合計	925	46.4%	3,892	39.1%	1,155	24.9%	4,880	25.4%
		日本	646	15.4%	2,479	9.9%	644	△0.3%	2,454	△1.0%
		アジア	26	417.8%	158	317.6%	66	148.8%	219	38.4%
		EMEA	252	278.4%	1,255	148.8%	445	76.4%	2,208	75.9%
タブロス点眼液 (タフルプロスト点眼液)	緑内障治療剤	合計	4,521	8.9%	17,844	8.8%	4,615	2.1%	18,883	5.8%
		日本	2,524	0.0%	9,610	0.2%	2,414	△4.4%	9,686	0.8%
		アジア	411	31.4%	1,807	47.3%	522	27.1%	2,026	12.1%
		EMEA	1,586	20.6%	6,427	15.0%	1,679	5.9%	7,171	11.6%
コソプト配合点眼液 (ドルゾラミド塩酸塩/ チモロールマレイン酸塩点眼液)	緑内障治療剤	合計	6,152	3.5%	24,200	9.2%	6,129	△0.4%	21,202	△12.4%
		日本	3,004	△1.6%	11,403	0.3%	2,759	△8.2%	8,957	△21.4%
		アジア	796	13.1%	3,197	19.8%	937	17.7%	3,317	3.8%
		EMEA	2,352	7.7%	9,600	18.1%	2,432	3.4%	8,928	△7.0%
チモプトール点眼液 (チモロールマレイン酸塩点眼液)	緑内障治療剤	合計	402	△11.3%	1,451	△3.8%	275	△31.6%	990	△31.8%
		日本	231	△17.5%	787	△18.7%	139	△40.1%	470	△40.3%
		アジア	28	△7.4%	116	△2.7%	30	5.6%	112	△3.3%
		EMEA	142	0.1%	548	30.1%	106	△25.2%	408	△25.6%
チモプトールXE点眼液 (チモロールマレイン酸塩持続性点眼液)	緑内障治療剤	合計	602	△2.6%	2,221	△6.8%	513	△14.8%	1,976	△11.0%
		日本	392	△14.7%	1,407	△12.9%	323	△17.7%	1,203	△14.5%
		アジア	26	14.0%	105	19.1%	28	6.7%	109	3.6%
		EMEA	184	35.4%	709	4.4%	162	△11.9%	664	△6.3%
トルソプト点眼液 (ドルゾラミド塩酸塩点眼液)	緑内障治療剤	合計	1,189	4.8%	4,677	7.7%	1,154	△2.9%	4,547	△2.8%
		日本	448	△6.1%	1,641	△5.2%	398	△11.1%	1,446	△11.9%
		アジア	78	12.9%	327	20.9%	100	28.9%	462	41.3%
		EMEA	663	12.7%	2,709	15.7%	656	△1.1%	2,639	△2.6%
レスキュラ点眼液 (イソプロピルウノプロストン点眼液)	緑内障治療剤	合計	403	△12.0%	1,467	△10.1%	328	△18.6%	1,256	△14.4%
		日本	403	△12.0%	1,467	△10.1%	328	△18.6%	1,256	△14.4%
		アジア	—	—	—	—	—	—	—	—
		EMEA	—	—	—	—	—	—	—	—
アレジオン点眼液 (エビナスチン塩酸塩点眼液)	抗アレルギー点眼剤	合計	2,666	31.1%	16,851	37.7%	2,345	△12.0%	17,727	5.2%
		日本	2,666	31.1%	16,851	37.7%	2,345	△12.0%	17,727	5.2%
		アジア	—	—	—	—	—	—	—	—
		EMEA	—	—	—	—	—	—	—	—
フルメトロン点眼液 (フルオロメトロン点眼液)	抗炎症点眼剤	合計	901	4.8%	3,497	4.5%	841	△6.7%	3,141	△10.2%
		日本	544	△3.1%	2,113	△5.0%	405	△25.5%	1,652	△21.8%
		アジア	358	19.5%	1,385	23.2%	436	22.1%	1,490	7.6%
		EMEA	—	—	—	—	—	—	—	—
カリーユニ点眼液 (ピレノキシ点眼液)	老人性白内障治療剤	合計	1,222	15.7%	4,413	7.0%	1,015	△17.0%	4,398	△0.3%
		日本	734	△4.2%	2,741	△3.2%	671	△8.5%	2,644	△3.6%
		アジア	489	68.2%	1,672	29.6%	344	△29.7%	1,755	4.9%
		EMEA	—	—	—	—	—	—	—	—
OftanCatachrom (オフトンカタクロム) (チトクロームC/アデノシン/ ニコチンアミド含有点眼液)	老人性白内障治療剤	合計	772	141.4%	2,695	21.2%	627	△18.8%	2,800	3.9%
		日本	—	—	—	—	—	—	—	—
		アジア	—	—	—	—	—	—	—	—
		EMEA	772	141.4%	2,695	21.2%	627	△18.8%	2,800	3.9%
オパガンハイ眼粘弾剤 (ヒアルロン酸ナトリウム眼科手術補助剤)	眼科手術補助剤	合計	621	△1.5%	2,304	0.8%	542	△12.8%	2,109	△8.5%
		日本	621	△1.5%	2,304	0.8%	542	△12.8%	2,109	△8.5%
		アジア	—	—	—	—	—	—	—	—
		EMEA	—	—	—	—	—	—	—	—
アイリーア硝子体内注射液 (アフリバルセプト(遺伝子組換え) 硝子体内注射液)	眼科用VEGF阻害剤	合計	13,107	10.2%	51,517	14.1%	13,976	6.6%	54,473	5.7%
		日本	13,107	10.2%	51,517	14.1%	13,976	6.6%	54,473	5.7%
		アジア	—	—	—	—	—	—	—	—
		EMEA	—	—	—	—	—	—	—	—
ヒアレイン点眼液 (ヒアルロン酸ナトリウム点眼液)	角結膜疾患治療剤	合計	4,709	△1.1%	18,170	3.3%	4,864	3.3%	17,708	△2.5%
		日本	2,993	△8.4%	10,772	△9.1%	2,287	△23.6%	8,541	△20.7%
		アジア	1,717	14.7%	7,397	28.8%	2,576	50.1%	9,167	23.9%
		EMEA	—	—	—	—	—	—	—	—
ジクアス点眼液 (ジクアホソルナトリウム点眼液)	角結膜疾患治療剤	合計	3,511	20.3%	14,286	19.6%	3,678	4.8%	16,087	12.6%
		日本	3,189	18.8%	12,822	16.4%	3,355	5.2%	14,463	12.8%
		アジア	322	37.7%	1,463	58.3%	322	0.1%	1,625	11.0%
		EMEA	—	—	—	—	—	—	—	—
Ikervis(アイケルビス) (シクロスポリン点眼液)	角結膜疾患治療剤	合計	479	191.8%	2,049	57.2%	723	50.8%	2,880	40.6%
		日本	—	—	—	—	—	—	—	—
		アジア	2	—	68	—	82	—	327	377.0%
		EMEA	478	190.9%	1,981	52.2%	641	34.1%	2,553	28.9%
Cationorm(カチオノーム)	角結膜疾患治療剤	合計	503	56.6%	2,092	14.0%	604	20.1%	3,116	49.0%
		日本	—	—	—	—	—	—	—	—
		アジア	48	68.0%	199	72.3%	37	△22.9%	173	△13.2%
		EMEA	405	38.2%	1,670	16.1%	515	27.2%	2,713	62.5%
一般用医薬品		合計	3,980	34.1%	14,594	16.3%	3,514	△11.7%	16,498	13.0%
		日本	3,918	33.1%	14,301	15.1%	3,454	△11.8%	16,144	12.9%
		アジア	62	154.1%	293	121.8%	60	△2.2%	355	20.8%
		EMEA	—	—	—	—	—	—	—	—

主要通貨 為替換算レート	通貨	2018年3月期 第1四半期	2018年3月期	2019年3月期 第1四半期	2019年3月期(予想)
		米ドル	111.33	110.94	108.87
ユーロ	122.95	129.92	129.57	130.00	
中国元	16.22	16.84	17.01	17.00	

※上記の予想等は、現在において入手可能な情報に基づいて作成しています。実際の業績等は、事業環境変化などにより、大きく結果が異なる可能性があります。

(2) 医薬品開発状況

※2018年8月1日現在

■医薬品開発状況一覧表(臨床段階)

一般名	開発コード	効能・効果	自社/導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
ジクアホソルナトリウム	DE-089	ドライアイ	Merck Sharp & Dohme Corp. (米国)	中国				2017年10月		
角結膜上皮からムチンや水分の分泌を促すドライアイ治療剤。既存薬と異なる作用機序を持つ。日本で、2010年12月に発売。中国で、2017年10月に輸入医薬品承認を取得、2018年度に上市予定。2013年10月に韓国、2016年2月にベトナム、2016年4月にタイで発売。アジアで順次販売承認を申請中。										
シロリムス	DE-109	ぶどう膜炎	自社	米国						
				日本						
				欧州						
				アジア				2015年4月		
免疫抑制作用、血管新生抑制作用などを有する硝子体内注射剤。米国で2018年度下期に追加の臨床試験を開始予定。アジアで、2015年4月に販売承認を申請。										
エピナスチン塩酸塩	DE-114A	アレルギー性結膜炎	日本ベーリンガーインゲルハイム	日本						
H ₁ 拮抗作用と膜安定化作用を併せ持つアレルギー性結膜炎治療剤。高用量製剤。日本で、2018年7月にフェーズ3試験を終了、2018年度下期に申請予定。										
オミデネパグイソプロピル	DE-117	緑内障・高眼圧症	宇部興産と共同開発	米国						
				日本				2017年11月		
				アジア						
新規メカニズムのEP2受容体作動薬。米国で、2015年2月にフェーズ2b試験を終了、2018年度下期にフェーズ3試験を開始予定。日本で、2017年11月に製造販売承認を申請、2018年度下期に承認予定。アジアで、2016年12月にフェーズ3試験を開始、2018年度下期に終了予定。										
carotuximab	DE-122	滲出型加齢黄斑変性	TRACON社	米国	(フェーズ2a)					
抗エンドグリン抗体の硝子体内注射剤。米国での開発を目指し、2017年7月にフェーズ2a試験を開始、2019年1月～6月に終了予定。										
sepetaprost	DE-126	緑内障・高眼圧症	小野薬品工業	米国	(フェーズ2b)					
				日本	(フェーズ2b)					
FP受容体およびEP3受容体への作動作用(デュアル作動薬)を有する新規メカニズムのプロスタグランジン誘導体の緑内障・高眼圧症治療剤。米国、日本で、2017年7月にフェーズ2b試験を開始。										
アトロピン硫酸塩	DE-127	近視	Singapore Health Services社、南洋理工大学	アジア						
小児における近視の進行を抑制するムスカリン受容体拮抗薬。アジアで、2017年11月にフェーズ2試験を開始、2019年度下期に終了予定。										
—	DE-128 (InnFocus MicroShunt)	緑内障	自社	米国	(フェーズ2/3)					
				欧州						
2016年8月に、InnFocus MicroShuntを開発するInnFocus社を買収。原発開放隅角緑内障における眼圧下降を目的とし、房水の流出を促すインプラント手術用デバイス。FDA承認取得に向け米国および欧州にて、フェーズ2/3試験を実施中、2018年～2019年に終了予定。2020年～2021年に上市予定。欧州にてCEマークの承認を取得済み。										
シクロスポリン	DE-076B (Cyclokot)	ドライアイに伴う重度の角膜炎	自社	米国						
				アジア				2017年12月		
免疫抑制作用により、ドライアイに伴う重度の角膜炎を改善する乳化点眼剤。カチオン性製剤技術により組織移行性を高めた製剤。2015年7月以降、ドイツおよびイギリス等、欧州で順次発売。アジアで順次販売承認を申請しており、タイで2017年12月に発売。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社/導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
シクロスポリン	DE-076C (Vekacia)	春季カタル	自社	欧州				2018年7月		
免疫抑制作用により、春季カタルの症状を改善する乳化点眼剤。カチオニック製剤技術により組織移行性を高めた製剤。2018年7月に欧州委員会より医薬品販売承認を取得。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社/導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
ラタノプロスト	DE-130A (Catioprost)	緑内障・高眼圧症	自社	欧州						
プロスタグランジンF ₂ α誘導体の緑内障・高眼圧症治療用乳化点眼剤。										

■2017年度第4四半期決算発表時(2018年5月9日)からの変更点

開発コード	変更点
DE-076C (Vekacia)	2018年7月に欧州委員会より医薬品販売承認を取得。

(3) 設備投資、減価償却費及び償却費、製品に係る無形資産償却費ならびに研究開発費

■設備投資

(単位：百万円)

	2018年3月期		2019年3月期	
	第1四半期 累計実績	通期実績	第1四半期 累計実績	通期見込
設 備 投 資 額	974	5,445	1,280	7,480

■減価償却費及び償却費

(単位：百万円)

	2018年3月期		2019年3月期	
	第1四半期 累計実績	通期実績	第1四半期 累計実績	通期見込
総 額	1,011	4,155	1,009	4,260
製 造 経 費	470	1,950	473	2,040
販 売 管 理 費	357	1,453	375	1,520
研 究 開 発 費	184	752	161	700

(注) 製品に係る無形資産償却費および長期前払費用の償却費は除いています。

■製品に係る無形資産償却費

(単位：百万円)

	2018年3月期		2019年3月期	
	第1四半期 累計実績	通期実績	第1四半期 累計実績	通期見込
総 額	1,656	6,740	1,739	6,930
メ ル ク 無 形 資 産 償 却 費	1,380	5,592	1,452	5,810
アイケルビス無形資産償却費	174	736	183	740
そ の 他	102	412	103	380

■研究開発費

(単位：百万円)

	2018年3月期		2019年3月期	
	第1四半期 累計実績	通期実績	第1四半期 累計実績	通期見込
研 究 開 発 費	5,613	24,398	5,619	25,000
対 売 上 収 益 比	10.0%	10.8%	9.9%	10.5%

※上記の予想等は、現在において入手可能な情報に基づいて作成しています。実際の業績等は、事業環境変化などにより、大きく結果が異なる可能性があります。